

国土交通省新型コロナウイルス感染症対策本部

令和2年2月7日

大臣発言

- 新型コロナウイルス感染症対策については、私から各本部等において、感染の更なる拡大を防止するための取組を強化するよう指示し、全省を挙げて対策を講じてきたところです。
- さて、2月3日に横浜港に到着したクルーズ船「ダイヤモンド・プリンセス」号においては、下船した方の新型コロナウイルスへの感染が確認され、大型客船内での集団感染という新たな事態の発生に直面しました。これに対し、国土交通省では、クルーズ会社及び関係機関と連携し、感染者の移送や感染拡大の防止等に取り組んでまいりました。
- こうした中、昨日（6日）の持ち回り閣議において、8日に那覇港に入港予定であった「ウエステルダム号」に乗船している外国人についても、船舶内において感染症の発生のおそれがあることに鑑み、上陸を認めないことが了解されました。
- この措置を受けて、国土交通省としては、早速、この船舶に対して入港しないよう強く要請するとともに、全ての港湾管理者に対して、本措置の趣旨を踏まえて適切に対応するよう要請を行ったところです。現在、当該船舶から、8日の那覇寄港を取りやめた上で当面のスケジュールを白紙とし、次の寄港地を検討する旨の連絡が入っております。
- このような状況を踏まえ、以下のとおり指示します。
  1. 「ダイヤモンド・プリンセス」号については、最大14日間、乗客の皆様は船内にとどまっていたかくことになっていきます。巡視船艇による周辺海域の巡回のほか、真水精製やバラス

ト水管理などに必要な作業、同船の岸壁の使用についての関係機関との連絡調整など、停泊環境の保持に取り組んでください。

2. 今後、引き続き、有症者を乗せた船舶について迅速かつ正確に情報を把握し、関係機関に速やかに報告してください。
  3. 武漢に在留する方々の帰国のためのチャーター機については、第4便が本日到着いたしました。引き続き、関係省庁と緊密に連携しながら、帰国された方々の空港から医療センター、滞在施設までの移動に万全を期してください。なお、ホテル三日月に宿泊されている方々の支援に派遣されている職員との連携を密に行い、対応に万全を期してください。
  4. 我が国における新型コロナウイルス感染症の状況について、風評被害を防止し、いたずらに国民に不安を与えることのないよう、関係機関と連携して、国内外に対する正確な情報発信に努めてください。また同時に、観光業界や交通事業者から風評被害を含めた影響を把握してください。
  5. 訪日外国人旅行者の健康確保や、武漢市からの訪日ツアーを受け入れたバス事業者等へのフォローアップなど、これまでの対策本部における私の指示を、引き続き着実に実施してください。
- 日々刻々と状況は変化していますが、臨機応変かつ迅速に適切な対応を図り、関係省庁と緊密に連携しつつ、新型コロナウイルスの感染拡大防止に万全を期していただくようお願いします。